

我等ノ運動方法及態度ニ就テハ、概略決定セラレタレバ逐次發表致スベシ。同志諸賢ハ今後ノ運動方法ニ對シテハ、幹部一任ノ事ト願ヒ度ク希望ス。

三月十五日午前二時

友愛會芝浦支部 合 同 委 員 會

技友會は十五日午後三時頃、漸く新聞記者立會の上會社の重役と會見して要求案を提出した。會社は之に對し、代表委員は、職工全部の代表者と認むる事を得ずとの理由の下に拒絶した。職工全部の代表者と認むるを得ざる理由は、要求案の討議及議決等事實上技友會員のみの獨斷的のものにして、其他無所屬及友愛會員は一人も參加しなかつた事實にあるものゝ如し。

我等と、技友會とは既に、十五日午前一時を以て總ての交渉斷絶を見た。然し彼等の運動に對しては、側面より、背後より、暗々裡に援助を與へ、一方會社に對し、三月十六日午前十一時三十分頃、高橋幹事長内藤庶務高田宣傳兩委員長をして、會社の重要な人々に會見を求め、今回の事件に關しては技友會に對し、會社は高壓的手段を執られた。

らざる事及此の事件の爲め、技友會より犠牲者を出さざる事等の警告を發した。其時に今回の事件勃發の原因とも稱すべき二三の事實を聴取した。

越へて三月十七日朝職工出勤時間に技友會は、會社の門前を赤色布を付した會員を以て封鎖し、附近は技友會員をして全く赤色化し、此處に事實上強制同盟罷業が斷行された。

吾々友愛會員及無所屬職工は、最も靜肅に三田四國町友愛會本部に引揚げ善後策に就き協議の上、直ちに集合せる會員其他約一千五百名の者に調査せる事實を發表し、今日迄の經過を報告した。

十八日は更に悪化した、一端會社に戦を宣し極力奮闘を続けつゝあれども、會社は一般職工の代表者と認むるを得ずとの一點張りを以て之を拒絶した。

此處に於て技友會は其の戦の方向を一轉して、友愛會に敵對的行動を執るに至つた。亦た一方には何時ともなく流れ込んだ、労働運動屋とも稱すべきブローカー的色彩を